

君津市ってどんなところ

君津市は、房総半島のほぼ中央部に位置し、東京から50キロ圏内にあって、東京湾アクアラインにより1時間以内で都心までアクセスできる水と緑に囲まれた豊かな自然と歴史的な文化遺産などを数多く有する市です。

内陸部は房総丘陵の豊かな自然に恵まれ、四季折々のレジャーや観光を楽しむことができます。近年では、幻想的な写真が撮れると話題になった「清水溪流広場（濃溝の滝・亀岩の洞窟）」が、新たなスポットとしてにぎわいを見せており、ドローン空撮映像により魅力の発信に力を入れています。

市域は、内陸部の東部、南部が広大であり、千葉県では2番目の面積を有しています。

北西部は東京湾に面しており、海岸線は1960年代に埋め立てられ、現在は製鉄所が操業しています。



(上) 清水溪流広場「濃溝の滝・亀岩の洞窟」
(下) 全国生産No.1の水生カラー「恋人のカラー」



亀山湖(左上)、久留里城(右上)、九十九谷展望公園(左下)、久留里線(右下)

- 人口 ▶ 83,378人 (令和2年8月現在)
- 世帯数 ▶ 39,157世帯
- 面積 ▶ 318.81km²
- 市の木 ▶ キャラボク
- 市の花 ▶ ミツバツツジ
- 特産品 ▶ 水生カラー、自然薯、地酒



君津市YouTubeチャンネル

今後は、現在行っている特産品の相互販売による交流や、災害時相互応援協定に基づく連携などに加え、文化財や新井白石を通じた文化交流、各種お祭りなどのイベントにおける観光交流、自然体験などの子どもたちによる相互訪問やスポーツ交流など、幅広い分野においてさまざまな交流を計画・実施し、両市の友好関係をよりいっそう深めていきます。

今後の取組

問合せ 企画政策課政策調整担当 内線342



歴史、文化、産業、スポーツ、教育など、幅広い分野で更に交流を深めていき、よりいっそう密接な関係を築き上げていきたい。

これまでの交流によって築いてきた絆をたいせつにしなが、今後もさまざまな分野で交流を深めていきたい。

石井君津市長(左)・小島白岡市長(右)

交流のきっかけと背景

白岡市と千葉県君津市とは、両市にゆかりのある江戸時代中期の政治家・学者である新井白石を通じた市民同士の交流、両市議会による友好交流協定の締結、特産品の販売など、これまでさまざまな交流を重ねてきました。平成30年3月には、「災害時相互応援協定」を締結し、令和元年9月に発生した台風15号による風水害において

は、白岡市から君津市へ、物資の提供や人的支援を行いました。このような取組を重ねたことにより、両市の絆が深まりました。今般、文化、産業、観光、



JA きみつでの白岡美人の販売【平成30年8月】



台風15号で被災した君津市での給水活動【令和元年9月】

スポーツ、教育、防災など幅広い分野における交流を通じて、更なる相互理解と連携を深めるため、白岡市では初めてとなる「友好都市協定」を締結しました。

8月5日(水)、千葉県君津市と友好都市協定を締結しました。当日は、それぞれの市役所において、鶴田君津市議会議長と井上白岡市議会議長の立ち合いの下、インターネットを利用して対話しながら、石井市長と小島市長が協定書に署名しました。



友好都市協定書

特集

本市で初めてとなる

友好都市協定を締結しました！